

1 開会行事

教育長あいさつ

- ・今年度は、地域移行に向けたモデル事業を実施し、課題の抽出・把握を行い、その解決に取り組んでいるところです。地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てるという共通認識のもと、取り組みを進めて参ります。

2 山口県所管説明：県スポーツ振興課

（1）国の動向（スポーツ庁・文化庁）について

- ・令和8年度以降「地域移行」から「地域展開」と名称を変え、改革へ取り組む
- ・受益者負担と公的負担のバランス等の費用負担の在り方
- ・学習指導要領の改訂に向けた学校部活動の位置付けと、地域クラブ活動の取扱い

（2）地域クラブに参加する生徒の移動手段について

- ・移動手段の確保に向けた公共交通機関やスクールバスの効果的活用

3 防府市地域クラブ活動の進捗状況について（事務局）

（1）防府市地域クラブ認定要綱および運営に関するガイドラインについて

- ・第2回防府市部活動改革推進協議会の意見を参考に改訂を行い、正式に決定。

（2）令和6年度のモデル事業の進捗状況について

- ・スポーツ競技12種目で20クラブ、文化・芸術クラブ7種目で15クラブ、講座やサークルが6公民館で19団体立ち上がるようになった。
- ・モデル事業の成果として、生徒、保護者、指導者より、「子どもたちは身体的、精神的に強くなった。他校との交流で、コミュニケーション能力が向上した。レベルの高い指導を受けた。」といった声があった。また、地域クラブ立ち上げに必要な手続きなど事務等の精査を行った。
- ・地域クラブの課題として、活動場所までの移動、立ち上げに必要な費用、指導者の確保といった問題がある。

（3）令和7年度地域クラブ推進事業の概要について（子どもたちの夢を叶える3つのサポート）

- ・移動支援として、公共交通機関の移動にかかる交通費の全額公費負担、マイクロバスの購入による、令和8年度からの送迎実施。
- ・立ち上げに必要な備品や道具類の購入支援（ユニフォーム等）
- ・公認指導者資格取得にかかる費用を公費負担

4 意見交換・質疑・情報交換

【委員】

- 競技別に支援の額が異なる。必要な支援額を確保し、継続的な支援を行うべき。
- 市全体で義務教育段階の子どもたちのスポーツ文化にみんなで関わってあげようというアナウンスが市報やラジオ番組等であると良い。
- 今の小学校では、自分で選ぶことができる子どもたちが増えている。いくつもの地域クラブの選択肢が用意され、子どもたちのニーズに応えられるようになっていく。
- 学校施設を地域の人に使ってほしいが、セキュリティーや施設管理について環境整備をしっかりと進めて欲しい。
- 地域クラブに参加できない生徒の居場所づくりも考えていく必要がある。
- 防府市の地域クラブがアンサンブルの全国大会に出場を決めた。2月には新人演奏会で3クラブが演奏を披露できた。

【事務局】

- 指導者の謝金は各クラブで決定し、低廉な会費が認定要件となっている。立ち上げに必要な額は地域クラブにより異なるので支援を活かしてクラブを運営してほしい。
- 来年度、マイクロバスを3台購入する。令和8年度は富海、小野、大道地区から中央に移動するルートを検討中。
- マイクロバスの運行は、夕刻時間帯と夜間に活動するクラブのために2往復を考えている。
- スポーツ協会の会議や企業にも指導者になってもらえるよう要請している。更なる啓発に努める。
- 高校入試の可否に地域クラブも部活動同様に扱われるので、高校入試にかかる内申はこれまでと変わらない。
- 地域クラブでは、スポーツ安全保険に加入することを義務づけている。移動中の事故や活動中の怪我等も保障される。